

# 令和5年度の研究報告ならびに令和6年度の研究計画案について

茨城県教育研究会家庭，技術・家庭教育研究部  
中学校研究企画部

## 1 令和5年度の研究について

研究主題「生活や社会を見つめ、よりよく課題を解決できる生徒を育成する技術・家庭科教育」を基に、各地区にて研究に取り組んだ。今年度の研究における成果と課題は、次のとおりである。

### 【成果】

(県全体)

- ・研究組織の体制を整理し、各地区における先生方の役割を明確化できた。
- ・関ブロ群馬大会における提案発表（紙面発表）  
技術分野：筑西市立下館南中学校 坂入 祐哉 教諭  
家庭分野：水戸市立国田義務教育学校 長谷川奈実 教諭
- ・技術分野 授業研修会（15名参加）  
令和5年12月19日 茨城大学教育学部附属中学校（講師：教科調査官 渡邊 茂一 様）
- ・技術分野 実技研修会（30名参加）  
令和5年12月26日 水戸市立飯富中学校（講師：東京学芸大学 渡津 光司 様 他2名）

(各地区)

- ・地区内における研修を実施することができた。
  - 県南 技術・・・関ブロ千葉大会に向けた研修会（12月20日、2月20日）  
授業研究会 令和6年3月1日 授業者 守谷市立愛宕中学校 田中 浩之 教諭
  - 県東 家庭・・・関ブロ千葉大会に向けたプレ授業研究会  
令和6年2月26日 授業者 鹿嶋市立鹿野中学校 高崎とも子 教諭
  - 授業研究会 令和6年3月15日 授業者 鹿嶋市立鹿島中学校 黒澤 由佳 教諭

### 【課題】

- ・研究主題に関する実態調査を実施できなかった。
- ・オンライン研修の想定もあったが、実現まで踏み切れなかった。

今年度は、少しずつ研究に関わる事業を進められるようになった。

次年度は、県の研究企画部員と推進委員が連携したり、各中学校の技術・家庭科担当者が参加できるような研修会を実施したりするなど、ボトムアップを目指した活動を提案していきたい。

## 2 令和6年度の研究について

来年度の研究は、県の研究主題を推進するために、以下の取組を実践していきたい。

- ① 研究主題に関する実態調査（生徒・教師）の実施  
→ 全中学校、義務教育学校を対象
- ② 研究企画部員、研究推進委員等が情報交換する機会の確保  
→ 夏季（8月）・冬季研修会（12月）の実施（調査官の講演ができれば）  
→ 【技のみ】オンライン研修会 IBA TECH（仮）の開催（案）
- ③ いばらきものづくり教育フェアとの関連性を探る研究  
→ 参加生徒が増えるような手立て = 授業と関連させ、教員が「出場させてみよう」と思えるような手立ての模索（令和7年度に提案できたら…）